

## 組織培養によるキリ苗の増殖法の開発

### 1 研究のねらい

県内のキリ優良系統をバイオ技術を用いて大量増殖する技術と耐病性を持つ個体を作成する技術体系を開発する。

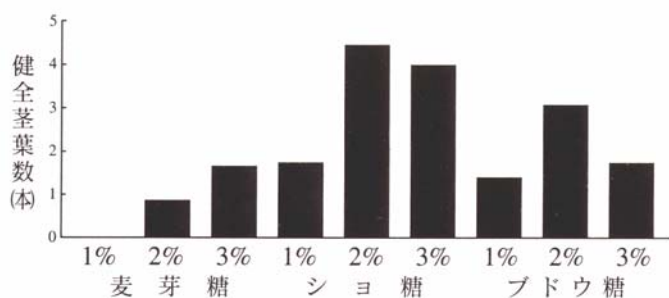
### 2 研究方法と結果

- (1) 試験材料：県内産キリの当年生枝から無菌的に摘出した茎頂組織を用いた。
- (2) 試験項目：茎頂組織から最も多くの茎葉を生産する培地の組成、茎葉からの発根と自然環境への順化、苗畑での育成方法について試験した。
- (3) 試験結果：シヨ糖濃度2%のMS培地が

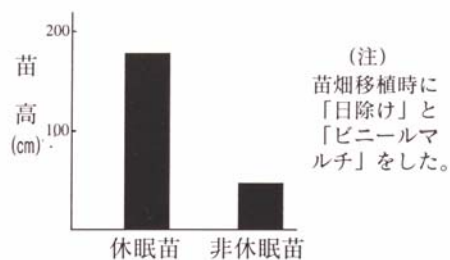
茎葉の増殖に最適であった。増殖させた茎葉をパーミキュライト入りのポットに挿し付けて保湿管理することによって84%が発根活着した。これを、冬期休眠させた後に苗畑に移植し、日除け及びビニールマルチをして育成することによって秋には苗高180cm程度の山行苗を得ることができた。

### 3 成果と今後の進め方

組織培養技術によってキリ山行苗を養成する技術が確立された。現在、病害抵抗性のナンブキリ新品種の開発を進めている。



培地中の糖による茎葉発生数の違い



冬期休眠の効果



培地上で発生した茎葉



組織培養苗による現地植栽試験地

(担当 特用林産部 専門研究員 菅原 誠司)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536  
 岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410  
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017>